

活動レポート

日本技術士会北海道本部

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会 幹事 笹森 健太

青年技術士交流委員会 ワークショップ

「交流を通じてキャリアのヒントや技術士仲間を見つけよう」

青年技術士交流委員会では、例年実施していた新規合格者向け WS をリニューアルして、「交流を通じてキャリアのヒントや技術士仲間を見つけよう」をテーマに、新規合格者や技術士を目指す技術士補・修習技術者との交流を目的としたイベントを開催しました。

◆開催日時：令和 7 年 5 月 11 日(日)

14:00～16:00

◆開催内容：技術士のキャリアや資格の活用などを聞いて、交流を通して技術士仲間を見つけるワークショップ

◆開催場所：北豆印商店 Café & Restaurant

◆対象：修習技術者、新規合格者等

◆講演者：川本技術士、丸山技術士、横澤技術士

1. はじめに

青年技術士交流委員会では、合格祝賀会を終えた 5 月頃に新規合格者向けの WS イベントを行っています。これまでのイベントは比較的二次試験合格者向けの内容であったことから、修習技術者や技術士補にも役立つイベントとして、今回改めて企画し開催しました。

当日は、修習技術者 3 名、技術士補 2 名、新規合



写真-1 講演する川本技術士

格者 1 名と青年技術士交流委員会メンバーを含む、計 14 名が参加しました。

2. 技術士からの講演

今回のイベントでは、最近技術士を取得した川本技術士(建設)、丸山技術士(建設)の 2 名と、横澤技術士(総監)の計 3 名の方に講演いただきました。



写真-2 講演する丸山技術士

講演では、技術士取得までの経緯や資格取得後の変化、取得して良かった事などを紹介いただきました。

3 名の講演では、資格取得によって発注者や周囲の方からの信頼や安心感が高まったという共通点があり、それが技術者としての自信につながっている様子が伺えました。本人の自己評価になる「自信」と他者の評価である「信頼感・安心感」が相互に影響し合い、高めあっている点が印象的でした。

また、「技術士に合格すること」がゴールではなく、「技術士になってから何をを目指すのか、どのようなことをしていきたいのか?」という部分を改めて考えるきっかけとなる場面もあり、技術士という資格の意義を再認識する良い機会になりました。

3. グループに分かれての情報交換や交流

続いて、参加者は3つのグループに分かれて情報交換をしました。「いつから技術士を目指したのか?」、「試験会場の雰囲気はどんな感じ?」など、様々な質問や話題で大いに盛り上がりました。

技術士を目指すきっかけや取り組む姿勢は、人それぞれで、予想以上に多様であることを実感しました。しかしその多様さこそが、今回のイベントの価値になっており、参加者の皆さんにとっては、多様な情報に触れることで、自分に合った考え方を見つける良い機会になったのではないかと思います。



写真-3 講演する横澤技術士

4. 実施後の感想

イベント実施後の感想では、修習技術者の方から「これから技術士を目指すにあたり、取り組み姿勢や時間の使い方など、さまざまな技術士のお話を聞いて参考になった」との声が寄せられました。また、「これまでは、二次試験の受験資格を得るまで経験を積むことが大切だと思っていたが、今回のお話を聞いて、今のうちから試験に向けた心構えを持つことの重要性に気づいた。」といった意見もありました。

筆者自身も、何度か試験に落ちた経験があるため、受験前に今回のように魅力的な技術士の方と気軽に意見交換や交流ができていれば、もう少し早く合格できたのではないかと思います。

新規合格者からは、「技術士取得に向けての取り組み方は人それぞれであり、異なるアプローチがあることがわかって面白かった。」といった感想があ

り、技術士同士でも新たな発見があり、交流がより深まった様子が伺えました。

さらにある参加者からは、「講演者の方々の話し方やコミュニケーションの能力は、このような場で磨かれているのだと感じた。」との意見もあり、講演者にとっても、本イベントが自己成長の良い機会となったことが感じられました。



写真-4 ワークショップで交流する様子

5. おわりに

今回のイベントは、修習技術者と二次試験合格者をつなぐ場をつくってみたいという思い立ちからのスタートでしたが、本イベントに参加してくださった多くの方が、その後も当委員会の活動に継続して参加してくれていることから、実りのある良いイベントになったと感じています。

来年も新たに合格された技術士の方々を講師に招いて、内容をさらにブラッシュアップした形で開催したいと考えています。



写真-5 最後に全員で撮影した集合写真